

学校運営協議会議事録

校名	大阪府立富田林支援学校
(准)校長名	岡本 泰宜

開催日時	令和6年2月19日(月) 10:00 ~ 12:00
開催場所	大阪府立富田林支援学校 1階 会議室
出席者(委員)	松久 眞実会長、北山 琢也副会長、前田 晶子委員、川崎 大輔委員、 葛井 展子委員、前田 裕子委員
出席者(学校)	岡本 泰宜校長、向山 和子准校長、関田 涉教頭、伊藤 弓子教頭 間苧谷 眞吾事務長、増田 慎太郎首席、下井 智史首席、池田 修三首席 油井 優子指導教諭、橋本 由美教諭(中学部主事)
傍聴者	1名(本校PTA役員)
協議資料	(1) 中学部・高等部進路状況について (2) 学校教育自己診断について (3) 令和5年度学校経営計画の評価について (4) 令和6年度学校経営計画について
備考	PowerPointで資料を閲覧

議題等(次第順)

1 開会のあいさつ
2 授業見学 (1) 小学部走ろう会 10:05~
3 協議 (1) 中学部・高等部進路状況について (2) 学校教育自己診断について (3) 令和5年度学校経営計画の評価について (4) 令和6年度学校経営計画について (5) 意見交換
4 その他
1 開会あいさつ 校長よりあいさつ
2 授業見学 小学部走ろう会の様子を見学
3 協議内容について 校長・准校長や各担当者を中心に説明を行った。その後、委員より感想やご意見をいただいた。 ※以下に内容を記載。  【進路について】 高等部の進路についてA型の事業所の利用希望者の状況について[委員]  就労者の具体的な企業について[委員]  【学校教育自己診断について】 グーグルフォームを本年度から取り組んで回答率が伸びたことはよかった。質問内容については、府内の支援学校でも同様のアンケートを行っていて、比較ができるような仕組みになっているのか。[委員] →項目については必須の項目と学校が独自に設定している項目があり、必須項目については、教育庁で集約し活用されている。  いじめの対応についてどのようになっているか。[委員] →日々の子どもたちとの関わりを大切に状況把握している。いじめにつながる可能性があるものについてはいじめ対策委員会を中心に生徒指導部、各学部と連携しながら進めている。  グーグルフォームを活用するよりも、紙で配付するほうが回収率が高くなる傾向がある。[委員] 回収率が3分の2程度で非常に評価が高くなっているように感じる。[委員] 提出をいただけていない3分の1の方のご意見を伺って学校教育活動に生かすことができればよいのではないか。[委員] 項目の文言について変更する際は、、学校として意見を聞きたいことを明確化することで、保護者の方や教職員にも趣旨が伝わる。[委員] 各学部の評価の差についてその要因を検証しているか。[委員] 子どもの成長や各学部でのねらいを保護者と共有することが大切である。また、日ごろのコミュニケーションが大切である。[委員] →今後もご指摘いただいた内容を意識しながら教育活動を進めていく。  【令和5年度学校経営計画の評価について】  【令和6年度学校経営計画について】 めざす学校像及び中期的目標について承認いただいた。  【意見交換】 自分の教育者としての始まりは支援学校だった。その際、支援教育がすべての教育の基本と教わって今まで様々な教育現場で務めてきた。この度、本校の学校運営協議会の委員として会議に出席し、学校を見てみると、初心を思い出した。教員の皆さんも、すべての基本が詰まった現場で教育しているという誇りを持って児童・生徒のためにがんばっていただきたい。[委員]
4 その他 次回の次年度の予定について、日程調整等の確認を行った。

次回の会議日程(予定)	
日時	令和6年6月25日(火) 10:00~12:00
会場	大阪府立富田林支援学校 1階 会議室